

2020 年度（令和 2 年度）

事業報告書

自 2020 年(令和 2 年) 4 月 1 日

至 2021 年(令和 3 年) 3 月 31 日



一般財団法人 日本生物科学研究所
NIBS NIPPON INSTITUTE FOR BIOLOGICAL SCIENCE

1. 事業の概要と特筆すべき成果

2020 年度は、事業計画に基づき産業動物の衛生問題対策、食の安全性を確保する畜水産物の生産及び伴侶動物の疾病予防と健康管理など、社会の要請に応じて貢献すべき事業分野の基礎的及び応用的研究を実施した。また、当所で蓄積されてきた研究成果・技術は、日生研株式会社の諸活動ならびに広く社会の産業動物の衛生問題・環境を改善するための技術及び材料提供に活かされ、さらに病性鑑定ならびに国内外関係者の研修・講習会などに積極的に活用された。

2020 年度は、日生研株式会社を通じて申請した 2 製剤の製造販売承認申請が承認された。加えて 2020 年度は新たに 2 製剤について製造販売承認申請を行った。

2. 研究課題及び関連業務

2020 年度の研究課題総数は 21 課題で、その内訳は、動物用生物学的製剤（ワクチン）として製造販売承認申請中の製品化課題及び製品化を目指す課題 13 題、基礎研究課題 8 題、その他業務を実施した。

3. 病性鑑定

野外農場における家畜動物の感染症動向の情報収集及び会社製品の販売促進等に資する営業支援として、野外農場からの病性鑑定依頼を受け入れ、検査部と研究部が連携して合計 213 件の病性鑑定（豚 112 件、鶏 89 件、その他 12 件）を実施し報告書を提出した。

4. 抗体検査その他

- 1) 検査部では、会社製品の販売促進に関連した営業支援として、野外農場の抗体検査を合計 1,059 件（豚 477 件、鶏 582 件）、合計 21,741 検体（豚 12,839 検体、鶏 8,902 検体）を実施した。
- 2) 日生研株式会社実験動物部の SPF 鶏清浄化プロジェクトチームに研究員 1 名、研究アドバイザー 2 名及び技術員 1 名を参加させ、鶏貧血ウイルスの抗体検査及び PCR 検査を実施し、月 1 回の進捗会議に参加させた。

5. 研究成果の発表

- 1) 研究論文 7 報を国際英文誌（査読あり）に発表した。
- 2) 研究成果 4 題を学会及び研究会に発表した。

6. 学術広報

- 1) 日生研たよりを無償で、国内 763 か所、国外 24 か所、合計 787 か所の関係機関と個人へ 4 回、各回 928 部を配布した。
- 2) 日生研たよりや事業内容の広報、情報公開をホームページにより積極的に行った。

7. 学会及び研究会活動

1) 学会及び研究会

当所の研究員は、2020 年 4 月 1 日現在、16 学会に延べ 49 名、4 研究会に延べ 21 名が所属している。また、賛助会員あるいは団体会員として 17 の学会・研究会等の運営に協力した。

2) 所内の研究会等

- (1) 研究課題の進捗状況・成果を発表する第一研究会を開催した。
- (2) 外部から専門家を講師として招待し、最新の研究についてオンライン講演を開催した。
- (3) 各研究課題について研究推進会議を定期的実施した。
- (4) 研究員が広く知識を吸収するため専門誌に掲載された学術論文の抄読会を定期的に実施した。

8. 研修および技術協力等

- 1) 研究員等の知識・技術能力向上のため、所外で開催された学術集会、セミナー、シンポジウム、研究会、研修会、講習会等を延べ 5 名が受講した。
- 2) 研究所など延べ 4 機関からの要請に応じて微生物株、検査材料など延べ 4 種類の研究材料を譲渡した。
- 3) 研究所など延べ 3 機関から微生物株など 3 種類の研究材料を譲受した。
- 4) 大学など延べ 3 機関から研修生及び見学を受け入れた。

9. 特許

- 1) 国内特許出願 1 件（プライマーセット、並びにプライマーセットを用いた核酸増幅方法、細菌の同定方法、及び罹患ブタの細菌感染診断方法）が公開された。
- 2) 国際出願（PCT 出願）1 件（豚流行性下痢の予防又は治療方法、ワクチン及びワクチンキット）について、移行手続きを行った韓国、ブラジルで実体審査請求をした。US は許可通知を受領した。

10. 講師等の派遣

1 機関で開催された業績発表会に審査員として派遣した。

11. 外部組織・委員会・学会等の役員等

14 機関の外部組織・委員会・学会等の理事、評議員、委員、専門家としてそれらの運営等に協力した。

12. 日生研奨励賞及び日生研功労賞の授与

1) 日生研奨励賞

選考委員会からの授賞候補者推薦はなく、授与はなかった。

2) 日生研功労賞

選考委員会からの推薦に基づき審議したが、授与はなかった。

13. 実験動物試験数

動物の愛護および管理に関する法律等に基づき作成した「実験動物福祉並びに動物実験等及び実験動物生産の管理に関する規程」に沿い、42 件の実験を行った。